

飲食店の労働災害防止に向けて！

～ 今日も一日ご安全に～



福岡労働局 安全衛生キャラクター
福労（ふくろう）くん
（命の尊さを訴えるハートメンフクロウ）

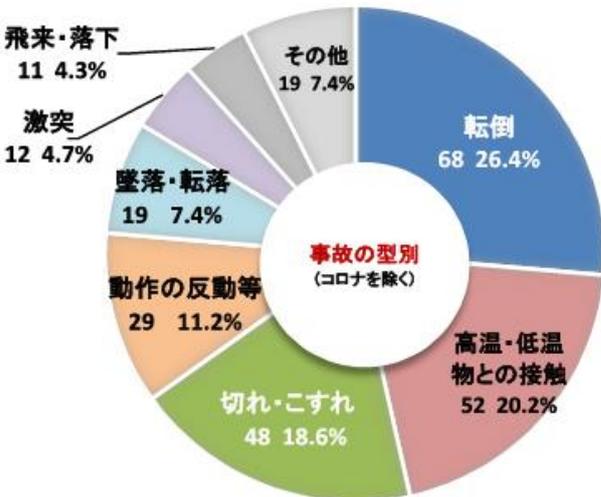
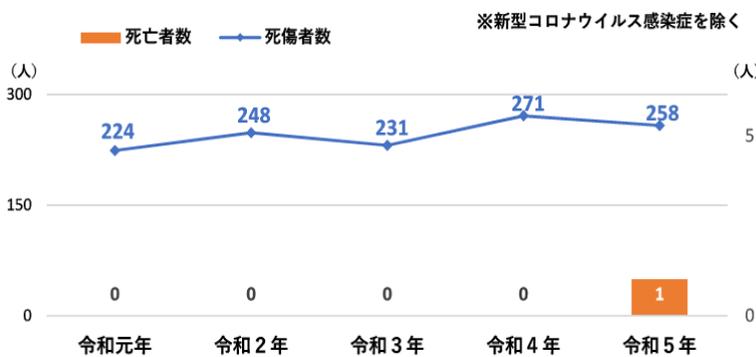
飲食店における労働災害の状況

福岡県内において、令和5年の飲食店における休業4日以上[※]の死傷災害は**258件**、死亡災害は**1件**発生しました。

第3次産業が全産業の労働災害の半数以上を占める中、飲食店の労働災害においても、近年増加傾向がみられます。

労使一体となって安全衛生対策に取り組み、飲食店の労働災害を防止しましょう！

【飲食店】労働災害発生状況（令和元年～令和5年）



飲食店の休業4日以上[※]の死傷災害を事故の型別に分析した結果、次のとおりでした。

- ① 転倒（つまずき、すべり） 26.4%
- ② 高温・低温物との接触 20.2%
- ③ 切れ・こすれ 18.6%
- ④ 動作の反動等（腰痛など） 11.2%
- ⑤ 墜落・転落 7.4%

第14次労働災害防止計画

（一部抜粋）

令和5年（2023年）4月1日～令和10年（2028年）3月31日までの5か年計画

労働者（中高年齢の女性を中心に）の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進

転倒予防対策

- ① 転倒災害は、加齢による骨密度の低下が顕著な中高年齢女性を始めとして、極めて**高い発生率**となっており、**対策を講ずべきリスク**であることを認識する。
- ② 転倒しにくい環境づくり（段差の解消・見える化、通路や作業場所の床の水等の拭き取り、整理整頓の徹底等のハード対策）だけでなく、個々の労働者の転倒や怪我のしやすさへの対応（**転倒等リスクチェックの実施と結果を踏まえた運動プログラムの導入等**、**骨粗しょう症検診の受診勧奨**等のソフト対策）に取り組む。
- ③ 特に第三次産業において、注意喚起をしておくことで防げた災害も多いことから、**パート・アルバイトの労働者も含めて安全衛生教育を着実に実施**する。

アウトプット指標（2027年まで）

- 転倒防止（ハード・ソフト両面からの対策）に取り組む事業場を50%以上
- 正社員以外への安全衛生教育の実施率を80%以上（卸売業・小売業/医療・福祉）

アウトカム指標（2027年まで）

- 転倒の**年齢層別死傷年千人率**を2022年と比較して男女とも**増加に歯止め**
- 転倒による**平均休業見込日数**を**40日以下**

労働災害防止のポイント

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう
転倒災害防止のためのチェックシート

「転倒」災害防止のポイント

- 床は常に「整理」「整頓」「清掃」「清潔」で安全に！
・床のぬれをきちんと拭き取る（清掃中の箇所は床ぬれに注意）
・余計なものがあると「つまずき」転倒の原因に
- 大きい物、重い物は「台車」を使用しましょう！
台車を使えないときは、二人で持つか、何回かに分けて運ぶようにしましょう
- 物を持つての移動は「転倒」の危険大！
- 通路の照度は十分確保しましょう！



「切れ・こすれ」災害防止のポイント

- 刃物は置き方、置き場所を安全に！
4S（整理、整頓、清掃、清潔）を徹底し、使い終わった刃物はきちんと片づけましょう。
- 割れた食器、欠けた食器に注意！
食器を洗うときには、ゴム手袋など手先を保護するものを着用しましょう
- 開けた缶の鋭利部分に注意！
- 加工機械の刃物の清掃に注意！
機械の点検、掃除、修理は、機械を停止し、完全に止まっていることを確認してから作業しましょう。



「やけど」災害防止のポイント

- フライヤー周りは「整理」「整頓」！
熱湯などを入れたたつ鍋などの容器を運んでいる時の転倒は「火傷」にもつながるので、注意しましょう。
- 熱いものを持つての移動は声かけ注意！
- 暑熱場所では水分補給と休憩を！
厨房内は暑熱な環境になりがちのため、熱中症の発生のおそれもあることに留意しましょう。



| チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> |
|--|-------------------------------------|
| 1 通路、階段、出口に物を放置していませんか | <input type="checkbox"/> |
| 2 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか | <input type="checkbox"/> |
| 3 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか | <input type="checkbox"/> |
| 4 転倒を予防するための教育を行っていますか | <input type="checkbox"/> |
| 5 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かちょうど良いサイズのものを選んでいませんか | <input type="checkbox"/> |
| 6 ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか | <input type="checkbox"/> |
| 7 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか | <input type="checkbox"/> |
| 8 ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか | <input type="checkbox"/> |
| 9 ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか | <input type="checkbox"/> |



報告の種別： ヒヤリハット 想定ヒヤリハット
「1」は発生防止に努めて下さい。

ヒヤリハット・想定ヒヤリハット 報告書

| | |
|------------------|--|
| 所属氏名 | 〇〇担当 〇〇 〇〇 |
| いつ | 平成27年〇〇月〇〇日（〇曜日）23時30分頃 |
| どこで | 厨房内 とうろくした時 食料の片づけ作業中 |
| ヒヤリハットした、 あつた | 厨房内で食料をしまうための冷蔵庫に近づこうとした際、扉が開くまでの洗浄 食料を感じた時の 作業のために濡れており、足を滑らせ転倒しそうになった。 |

どのような問題（不安全な状態又は行動）がありましたか。
〔問題があった項目欄にその時の状態と考えられる対策を記入してください。〕

| | |
|---|---|
| ①作業環境の問題 厨房の床が洗浄作業のために濡れていた。 | 心身分析 （自分も含めて原因に気づける ようになり、復元力が高まった ことがなかった） ①濡れていた ②気づかなくて ③深く考えなかった ④足踏みに着いた ⑤濡れていた ⑥濡れたまま濡れた 濡れたまま濡れた 濡れたまま濡れた 濡れたまま濡れた |
| ②設備機器の問題 あなたと一緒に歩いていたので、一緒に濡れそうになった。 | |
| ③作業方法の問題 厨房の床が濡れている状況に十分な注意を払わなかった。 | |

今後の対策（こうしてほしい・こうしたほうがよい）
床が濡れていることを注意する表示があるとよい。

※安全推進者の記入欄、報告者は記入しないこと。
（ア）床面が濡れていることの注意喚起用の表示物等を設置すること（危険ステッカーの活用等）。
（イ）厨房の床は、常に乾いているとは限らない。このため、大型調理器具の洗浄、厨房内の清掃等のための床面が濡れているときは、耐滑性のある履物を履いて作業を行うことを検討する。

○安全担当者（安全推進者）配置で安全な職場を！

飲食店でも安全の担当者を配置しましょう。
安全推進者は、「職場環境の改善」「作業方法の改善」などにより、
転倒災害防止などの対策を担当します。

○4S活動は災害防止の基本です！

4S活動は、安全で健康な職場づくり、そして作業効率の向上を
目指す活動で、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」を実践します。

○「ヒヤリ・ハット活動」で効果的な災害予防を！

仕事中にヒヤリとした、あるいはハットしたことを取り上げ、
会社全体で共有して災害防止に結び付けます。
危険有害要因を把握する方法として効果的です。

○「危険の見える化」で安全意識を高めましょう！

「見える化」は、危険認識や作業上の注意喚起をわかりやすく
知らせることができます。



エイジフレンドリー補助金

エイジフレンドリー補助金

- エイジフレンドリー補助金では、「エイジフレンドリーガイドライン」に基づき、高年齢労働者（60歳以上）の労働災害防止に取り組む中小企業事業者の皆様を支援しています。
- 高年齢労働者の労働災害防止対策、労働者の転倒・腰痛防止のための専門家による運動指導等の実施、労働者の健康保持増進に取り組む際は、エイジフレンドリー補助金を是非、ご利用ください。

